

2024年度(令和6年度) ケーブルテレビ久喜放送番組審議会 議事録

1. 開催日時 2025年3月21日(金) 15:00~16:00
2. 開催場所 栗橋コミュニティセンター「くぷる」(久喜市中里1048-1)
3. 委員の出席 審議委員総数 6名
出席委員数 6名

■出席者(敬称略)

梅田	修一	会長	(久喜市長)
小林	英一	副会長	(久喜市商工会 会長)
岩本	明美	代理出席	(久喜市観光協会 会長)
関根	憲一	委員	(一般社団法人久喜青年会議所理事長)
内海	弘美	委員	(女と男いきいきネットワーク久喜 代表)
武井	孝之	委員	(久喜消防署 署長)

■ケーブルテレビ株式会社 出席名

高田	光浩	(代表取締役社長)
米田	努	(営業部 部長)
今泉	勉	(コンテンツ部 地域プロモーション課 課長)
横山	拓	(コンテンツ部 地域プロモーション課 課長代理)
家田	愛	(コンテンツ部 地域プロモーション課 主任)
大塚	きらら	(コンテンツ部 地域プロモーション課)

4. 報告事項

【全体】

- (1) 委員の委嘱に関する報告
- (2) 放送エリア及び加入状況に関する報告
- (3) ケーブルテレビ(株)の取り組みに関する報告
- (4) 去年のご意見からの進捗報告
- (5) その他の活動報告

質問・回答 特になし

【コミュニティチャンネル関連】

- (1) 2024 年度の取り組み
- (2) チャンネル構成
- (3) 主なレギュラー番組
- (4) 主な特別番組

質問・回答 特になし

5. 議事

- (1) ご視聴番組に対してのご意見・ご質問 (①～④)

① く・わ・し・く彩たま

【委員】く・わ・し・く彩たまに関して、防災やスポーツ、生活等のさまざまなジャンルがあり、インタビューする側もされる側も、皆さん良い笑顔で素晴らしい良い番組で、番組スタッフの思いが伝わる番組だと感じた。

【委員】普段久喜市に興味を持って調べているが、地域密着型のケーブルテレビの番組を見て、新たな発見がある。番組自体はケーブルテレビで企画してやっているのか。それとも、視聴者の方から「このような放送をしてほしい」など意見をもらっているのか。

【CATV】ケーブルテレビ株式会社設立当初から市民との情報交流をしつつ、街でどんなことが起きているのかを知ってもらう、地元を理解してもらう、地域愛を持ってもらうことを目的に、それぞれの地域でダイジェストニュースを作ってきた。新規開局をした久喜でも同じように、専門チャンネルとして久喜市の情報を発信し、市民と市民のつながりを作るためにも行っている。できれば、いろんな人からの声をもらい、細かな情報を発信していきたい。制作チームに声がけいただければ、できるだけ対応していきたい。

【委員】久喜市観光協会では、ケーブルテレビスタッフと連携して、取材対応いただいている。スタッフも話しやすいので、いい関係を築けている。去年はオリンピックイヤーということもあり、パラリンピックに出場した栗橋出身の酒井園実選手のパブリックビューイングも取材してもらい、ご家族が一丸となって酒井選手を支えている様子が見えてとても素晴らしかった。また、カスリーン台風の慰霊祭の取材に関しても、普段聞けない被害者遺族の方へのインタビューもあり、とても印象的だった。被害者遺族の方が、「災害の起こらないまちづくりに貢献したい」という言葉がとても印象に残った。最後に、各地域の年越しの様子をリレー形式で紹介した回では、お正月にふさわしい番組だと感じた。

【委員】パブリックビューイングのインタビューや慰霊祭のインタビューなど、視聴者として興味を持って見ることができた。年越しの様子も、参拝者の混み具合などが見られたり、今度行ってみようという気にさせてくれたりする。これを機にケーブルテレビを見ようと思える人が増えてくれると良い。旧久喜市に住んでいるので、早くリアルタイムで見たい。年越しの様子は、鷲宮神社が映った時に暗いと感じた。明るく観たかったので、残念だったが身近な話題で良かった。栗橋のマラソン大会では、久喜マラソン大会の他に、このような大会があるのかと知ることができた。

【委員】酒井園実さんのパブリックビューイングの取材に来てもらい、良いアングルで撮って頂いてとても良かった。久喜市商工会主催でパブリックビューイングを開催したが、パラリンピックの時間帯が夜中2時だったのもあり、開催を迷ったが、多くの支援者が参加し盛大に開催することができ、その様子を取材・放映してもらえた。久喜市商工会としても良かったと思っている。

カスリーン台風の慰霊祭の話題について、台風が発生してから、被害があってから、年月が経ち災害の風化が見られる。過去の災害の話題も、取材・放送してもらえると、災害の認識ができ、非常にタイムリーでとても良かった。

【委員】新聞や、大手メディアに取り上げられないような地域密着な話題を番組の中で取り上げている。市民の皆さんがとても期待をしていると思う。久喜市においては、官公庁連絡会議という、行政機関のネットワークを組んでいるが、ケーブルテレビ久喜にも入ってもらっているので、連携を強化し、良い番組を作ってもらいたい。

② 【新番組】クッキリ

【委員】クッキリは食レポが中心で、出演者の2人が一所懸命取り組んでいるのを見て、上手だなと感じた。見ている、紹介しているものを食べたくなった。このような紹介番組があると、地域の商店街も盛り上がるのではないかと期待している。

【委員】紹介したお店によく足を運ぶが、店主の顔を見たことがなかったので、新鮮だった。このように取り上げられると、身近になるからとても良い。今後、商工会に加入しているお店も取り上げてほしい。長く続く番組になってほしい。

【委員】次はどこのお店や団体が紹介されるのか楽しみ。紹介されたお店を探してでも行きたいと思える番組構成になっている。とても見応えがあり、次回が楽しみ。

【委員】お店のパティシエの顔が見えるのは、感激した。お店の歴史の紹介で、オープン当時の開店当初の写真が紹介されていた。とても特徴的な外観のお店だが、開店当時の様子が見えるのは、歴史を感じることができた。また、後半で店主の娘さんが出演していて、お店の先行きが明るいことが放送を通して感じることもできた。

【委員】楽しく視聴させてもらった。出演者の食レポが上手。紹介したお店の商品は何度かいただいたことがあるのだが、作っている人の顔が見えるのは、温かさを感じる。先日行われた久喜市ビジネスグランプリの最優秀賞をとったお店も紹介されている。いろんな人が出演されているのはすごい。今後、久喜市くき親善大使や、地域の子どもたちとかと一緒にできたら面白いと思う。

【委員】店主によるお店の紹介部分で、店主の人柄が見えて、そのあとに娘さんのケーキの紹介が加わり、お店全体の雰囲気が視聴者によく伝わる構成だった。新しいお店に入ることが苦手な人でも行ってみようと思えるような番組。市の活性化につながると思うので、続けてほしい。

【委員】1つのお店に対し、15分という時間を使って紹介するのは、お店にとって一生ものの映像になると思う。引き続き続けてほしい。この番組を店内のモニターに流し続けるのはどうか？

【CATV】お店PRについては著作権の関係もあるため、お店を利用する人たちの範囲が狭まっていれば許可ができる。久喜市内では、まだケーブルテレビの利用者が少ない中で、放送するだけはいらない。今後、YouTubeなどといった、広く一般的に見ることができるメディアなどで見られるようにしていく。まだ利用していない人にも目に留まるような発信の仕方を考えたい。

③ 【特別番組】来るかもしれない大水害

【委員】久喜市危機管理課所属の危機管理監が出演し、説明をしている。久喜市主催で防災訓練を開催するといっても、実際に訓練を体験するのは難儀なもの。久喜市が置かれている防災の状況や、広域避難をしなければならないときに、どこに避難をすればいいのかを市民へ広く周知するためには、この番組を見てもらえれば、ほぼ伝わるような充実した有効な番組内容だった。

【委員】久喜市の危機管理監とケーブルテレビのマスコットキャラクター「きゅーちゃん」とのやり取りを見て、子どもにもわかりやすく、怖がらせない配慮を感じた。大人が見ても、ハザードマップを確認したくなるような番組だった。消防としても助かる番組で、今後は消防との連携もお願いしたい。

【委員】久喜青年会議所も何かあった時には行動を起こすのだが、周知に関しては難しい部分がある。人間というのは忘れてしまうもの。生活の中で、防災の重要性は忘れてしまう時がある。いざというときのために、地域の人たちに情報を届けてほしい。この番組をバージョンアップしながら、継続して放送して欲しい。

【委員】番組のタイトルを見て、難しい内容かと思いながら視聴し始めたが、実際はケーブルテレビのキャラクターを使って、危機管理監との会話形式での番組構成だったため、内容が入りやすかった。ハザードマップの見方や防災について、ポイントを押さえており、わかりやすかった。自分でも改めて防災について考えたいと思った内容だった。

【委員】一言で言って、凄くわかりやすい。内容が難しいと、途中で見るのをやめてしまうが、最後まで見ることができた。保育園では、毎月1回、火災・水害避難訓練を実施している。水害といっても子どもたちには浸透していないので、避難所までにどれぐらいかかるのかなど練習のような訓練を実施している。新年度4月以降、もう一度職員全員で見たいと思った。

【委員】危機管理監がぬいぐるみと対話する形で、子ども目線での話し方で説明していたのが印象的だった。映像で見ている時は気づくことができるが、時間が経つと忘れてしまう。この番組を継続して繰り返し放送するのが大事だと思う。

【委員】防災啓発ビデオにふさわしい内容だった。危機管理監は話も上手なため、内容をバージョンアップする時には、また声をかけてほしい。

④ スポ SHOW! 「健幸・スポーツフェスタ KUKI&ランニングフェスタ」

【委員】久喜市が今一番力を入れている健幸・スポーツ都市宣言の中のイベント取材してもらった。限られた時間の中で、イベントの楽しさを、十分に伝えてもらった。これから久喜市が力を入れていくニュースポーツを取り上げてもらい、スポーツの裾野を広げてもらったと感じる。

【委員】久喜市は「健幸・スポーツ都市」なので、継続して放送してほしい。

【委員】久喜市総合運動公園でやっていたイベントで、番組を見て楽しそうだと感じた。イベントに参加できなくて残念だったと思える番組だった。参加した人たちが楽しそうで、市長が話す「健幸・スポーツ都市」は、このことだったのかと感じた。子どもたちが楽しそうにしている映像は、説明が無くともこのイベントが楽しいことや、参加してみたい気持ちになると思う。次は参加したいと思える番組構成だったと思う。

【委員】主催側としては、家族で来てほしいというコンセプトを打ち出していた。番組の中で、イベントが充実している様子や、沢山の参加者を撮影し放送してもらえて良かった。また、子育て世帯の方も参加しやすいことや、高齢化に備えて健康寿命の延伸も政策にあったりするので、そのような事が反映されて、みんなで楽しくスポーツをすることを身近に感じれた番組だった。

【委員】楽しく視聴させてもらった。参加している人たちが、本当に楽しそう。このイベントに参加していたが、番組を通して盛り上がっている様子を見られたのは良かった。スポーツもマニアックなものが紹介されていて、市長の息がかかった番組だったのかなと感じた。スポーツコミッションが設立されたので、久喜市と組んでやっていけばもっとスポーツ人口が増えていくのではと、可能性を感じた番組だった。

【委員】初めて見るスポーツが多く紹介されていて、驚いた。大人も子どもも楽しめるスポーツも沢山紹介されていた。番組の中で、スポーツコミッションのスタッフもイベントを盛り上げている様子が撮影されていて、とても印象的だった。健幸・スポーツ都市の久喜市をPRするのに良い番組だと感じた。

【委員】久喜市は伝統だった市民まつりがボランティアの高齢化で開催できなくなってしまったように、イベントをスクラップ&ビルドする時期にある。そのような中で、番組で取り上げてもらったイベントは、新規のイベントとして若い世代や子どもたちがたくさん参加していただいたイベント。久喜市としても、こういったイベントをどんどんバージョンアップして、沢山の参加者を得られるように努力していくので、引き続きケーブルテレビと連携をして、イベントを広げていきたい。

(2) コミュニティチャンネル全般に関するご意見・ご質問

【委員】く・わ・し・く彩たまの番組放送が週3日から5日に増えた。これだけでも多くの露出が増えた。情報量も豊富になってきた。久喜地区へのエリア拡大もお願いしたい。

以上